

結論

- ・ 委員会としては、「山梨県に高専または高専以上の効果をもたらす新たな教育機関を設置すべき」との結論に至った。
- ・ 新たな教育機関は「未来への投資」。今後は、様々な困難を乗り越えながら、具体的な検討に進まれることを期待する。

ポイント

- ・ 画一的な教育ではなく、早期から自分の好きな分野に打ち込める学習環境や、受験勉強に縛られない5年間の教育の場は、本県の子供達にとって魅力ある新たな選択肢となり得る。
- ・ 全国でもここでしか学べない特色ある高専を新設することで、人口減少下であっても、県内のみならず、県外や国外からも学生の確保を期待。地域の活性化にも寄与する。
- ・ 次代を担う子供達に豊かな選択肢を提供。本県産業の活性化、ひいては社会全体の変革に繋がる可能性を秘めている。

本県における高専のありたい姿

基本理念

- ・ 世界に誇る富士のような「One and Only」の学校

コンセプト

- ・ サステナビリティ × テクノロジー × 地域課題 = 地方創生

輩出する人材像

- ・ 自然と人間が育む豊かな心を持ち、持続可能な社会や地域を実現するための「専門的技術」と「創造力」により、未来を創り出し、牽引する次世代リーダー

期待される効果と課題など

期待される効果

- ・ 受験勉強に縛られない学びの選択肢の拡大や、新しい学びの場の創出
- ・ 新しい価値を創造し、社会や企業を変革しうる高度なテクノロジー人材の輩出
- ・ 高専を核とした県内教育機関等への波及による教育の質の向上
- ・ 地元企業との連携を通じた技術課題の解決や新規事業の創出による競争力強化
- ・ 県内のみならず、県外・国外からの優秀な学生の流入による地域の活性化

課題

- ・ 県立産業技術短期大学校、県立甲府工業高校、今後開設予定の県立大学メイカーズ学科（仮称）との役割分担や連携についての整理
- ・ 設置運営にかかる費用の調達や、人材輩出までに要する長期的な年月
- ・ 教職員の確保
- ・ 卒業生の県内企業への定着

今後は、本委員会の報告内容を十分に踏まえた上で、教育効果を最大限に引き出す観点から検討されたい。